

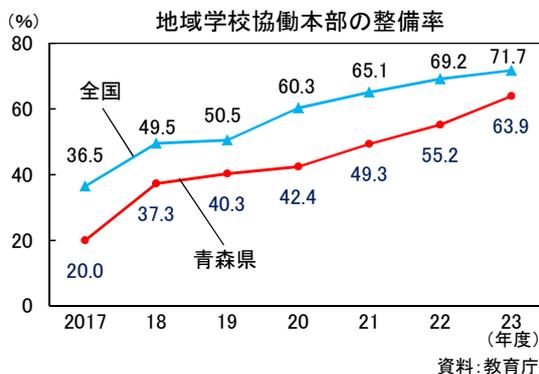
施策 6

学校・家庭・地域の連携・協働の推進

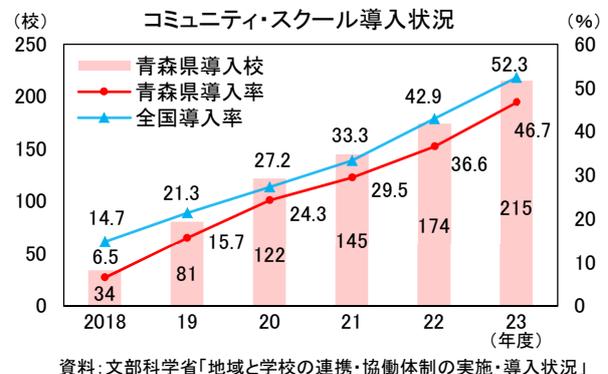
■2023(令和5)年度の主な取組・成果

- 地域全体で未来を担うこどもたちの成長を支えられるよう、県域における地域学校協働活動の更なる充実を図り、これまでの事業により形成された人財とのつながりを活かした研修会等を開催するなどし、地域と学校のパートナーシップを強めるための取組を行いました。
- 地域に開かれた学校の推進と教育活動の充実に向けて、県立学校27校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール導入による効果や課題の整理を行いました。
- 家庭の教育力向上を図るため、家庭教育支援者向けの研修会や読み聞かせの大切さを伝える親子ふれあい読書アドバイザーの養成を行ったほか、地域全体で家庭教育を支援する意識や必要性に関する普及・啓発を行うため、家庭教育応援フォーラムを開催しました。
- 家庭・地域・学校が連携して、こどもが読書に親しむ機会・環境の充実と普及啓発を進めることを目的に県内の中学生・高校生を対象に友達に薦めたい本の紹介文の募集やイベントを開催しました。

■施策の現状を表す指標の動向等



地域学校協働本部の整備率は、年々上昇していますが、全国平均を下回っています。



本県におけるコミュニティ・スクール導入校は年々増えていますが、全国平均を下回っています。

■主な課題と今後の取組の方向性

主な課題	今後の取組の方向性
<p>本県の地域学校協働本部の整備率は増加傾向にあるものの全国平均と比べ低い水準にあるため、地域学校協働活動に対する理解を得ながら、本部の整備を進めていく必要があります。</p>	<p>地域学校協働活動推進員の育成に取り組むとともに、多様な形態の設置モデルを示すことで市町村への本部の整備を促します。</p> <p>また、教職員や地域住民等の地域学校協働活動に対する理解を深めるための各種研修会を実施します。</p>
<p>学校運営協議会を導入した県立学校においては、地域と学校との組織的な連携・協働体制を継続していく必要があります。</p>	<p>保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、地域の子どもたちを育てていくために共有した子ども像や目指すべき教育のビジョンの実現に向け、地域と学校と家庭が一体となって協働する体制を構築していきます。</p> <p>また、県立学校における学校運営協議会導入校の拡充に向けた取組を進めます。</p>
<p>全ての親が安心して子育てを行えるよう、学校と家庭教育支援団体、福祉部局等の関係機関がより一層連携し、予防的・早期対応型の家庭教育支援を進める必要があります。</p>	<p>学校、家庭教育支援団体、関係機関などつながりを深めるための研修会や、県民向けのイベントの開催など、地域全体で家庭教育を支援していく気運の醸成、家庭教育への総合的な支援を図ります。</p>

(参考) 2023(令和5)年度における県教育委員会の主な事業の取組状況

1 学校における文化部活動推進事業【学校教育課】 2,128千円

取組状況	適切な文化部活動の実現及び教職員の文化部活動指導の負担軽減を図るため、県立学校4校の文化部に文化部活動指導員を配置した。
------	--

2 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業【生涯学習課】 1,464千円

取組状況	全ての県立特別支援学校に学校運営協議会を設置し、各校の1回目の学校運営協議会での説明を行うとともに、コミュニティ・スクール連絡協議会をオンライン開催(2回)し、各校の取組や課題等について共有、協議した。
------	---

3 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業【生涯学習課】 507千円

取組状況	<p>県立高等学校7校においてコミュニティ・スクールを導入し、学校・家庭・地域が連携した取組が推進され、学校を応援しようとしている地域の方々が「学校が何に困っているのか」という理解の促進につながった。</p> <p>学校運営協議会を導入している高等学校における取組の充実を図るため、導入校連絡会議を開催し、各校における取組や課題について情報共有や意見交換を行った。</p>
------	--

4 地域学校協働活動推進事業【生涯学習課】 1,939千円

取組状況	<p>県における地域学校協働活動推進の総合的なあり方や、児童の放課後対策の諸問題について協議するため、地域学校協働活動推進委員会及び放課後子ども総合プラン市町村担当者連絡会議を開催（参加者数65人）し、情報共有を図った。</p> <p>市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図るため、地域学校協働活動推進のための研修を実施（参加者数67人）したほか、放課後対策等に関わる地域人財を対象に、放課後子ども総合プラン指導員等研修会を6地区で計12回実施（参加者数延べ1,082人）し、学習・体験活動等の企画・実施、安全管理のための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を行った。</p>
------	---

5 学校・家庭・地域連携協働推進事業費補助【生涯学習課】 29,112千円

取組状況	<p>市町村における地域学校協働活動の推進に資するよう、地域学校協働活動の取組を行う20市町村に補助金を交付した。</p>
------	---

6 あおもり家庭教育支援総合事業【生涯学習課】 2,195千円

取組状況	<p>社会の変化に伴う今日的課題に対応するため、家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム1～3（改訂版）」を改訂した。</p> <p>読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」養成講座（6地区、参加者数181人）を開催し、新たに12人のアドバイザーを登録した。</p> <p>地域全体で家庭教育を支援するため、家庭教育応援フォーラム（参加者数73人）や、青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会（参加者数27人）、家庭を支える連携・協働セミナー（参加者数47人）及び祖父母向け孫育て研修会（参加者数119人）をそれぞれ開催した。</p>
------	--

7 地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業【生涯学習課】 477千円

取組状況	地域のこどもたちの望ましい職業観や人生観を育むことを目的に研修会（2回、参加者数71人）やフォーラム（参加者数68人）等を実施し、学校・地域住民・企業・NPO・各種団体等の関係者の相互理解が深まった。（総合社会教育センター）
------	--

8 子どもの読書活動推進事業【生涯学習課】 2,845千円

取組状況	<p>広く県民がこどもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体でこどもの読書活動を推進する機運の醸成を図るために「子どもの読書活動推進大会」を青森市で開催（参加者数116人）した。</p> <p>中学生及び高校生の読書意欲の向上に向けては、「大切なあなたへ薦める青春の一冊」コンクールを開催（応募点数3,305点）し、優秀作品については、冊子、ホームページ等で公開した。</p> <p>また、学校における読書活動推進を支援するため、実践事例を紹介するリーフレットを作成し、学校及び関係機関等に配布した。</p>
------	--

9 あおもり家庭教育力向上事業【生涯学習課】 744千円

取組状況	<p>地域における家庭教育支援体制を整備するため、県内2地区（中南・下北）において、あおもり家庭教育アドバイザー養成講座を各6回開催し、新たに15人のアドバイザーを登録した。</p> <p>また、あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ講座を、オンラインで開催（参加者数12人）した。（総合社会教育センター）</p>
------	--

10 地域と学校とのパートナーシップ強化事業【生涯学習課】 2,792千円

取組状況	<p>地域学校協働活動の更なる推進を図るため、学校関係者と地域の企業等との交流会を実施（参加者数延べ121人）した。また、県立学校に地域学校協働活動推進員を配置するとともに、地域学校協働活動研修を実施（参加者数延べ358人）して、学校・地域の連携・協働の必要性や役割について理解を深めた。</p>
------	--

11 学校における運動部活動推進事業【スポーツ健康課】 9,251千円

取組状況	<p>本県における「運動部活動の指針」の周知並びにスポーツ活動の指導・運営体制の充実を図るため、運動部活動のあり方に関する研修会を開催した（参加者：中・高等学校の管理職及び部活動担当教員、部活動指導員、市町村教育委員会担当者等203人）。</p> <p>また、部活動指導体制の充実及び部活動の質的向上を図るとともに、部活動指導に対する教員の負担を軽減するため、県立中学校1校及び県立高等学校6校に計7人の部活動指導員を配置した。また、市町村立中学校への部活動指導員配置に要する経費について補助し、15市町村67人が配置された。</p>
------	---

12 地域スポーツクラブ活動体制推進事業【スポーツ健康課】 4,530千円

取組状況	<p>公立中学校における休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、県立三本木高等学校附属中学校において、指導者の確保、運営団体の設立、費用負担のあり方について実践研究を行った。</p>
------	---

13 若者の社会参加促進事業【生涯学習課】 662千円 （施策7に掲載）

14 命を守る！防災教育推進事業【スポーツ健康課】 2,139千円 （施策2に掲載）